

四音節名詞における京阪アクセントと現代東京アクセント

柳 田 征 司
(国語学研究室)

筆者は、先に、音便の定着が原因となつて、東京式アクセントが、鎌倉・室町時代の京阪式アクセントから分離せざるをえなかったことを推定した^(註)。即ち、音便が確立・定着すると、特殊音素が単独でそれだけでアクセントの山を担わざるを得ないケースが生じることとなり、それができない地域においてはアクセントを大きく変えざるを得なかったものと推定した。例えば、東京式アクセントになつた地域においては、二音節第二類動詞連用形十テ、カイテ(書いて)などは、○●▽のアクセントを担うことができず、特殊音素が前の音に依存するかたちで、●○▽に転じざるを得なかったものと推定した。そして、音便の定着によつて動詞・形容詞に起きた変化がやがて名詞など他の品詞にも及んでいったものと推定した。

そのことについて論じた前稿においては一音節名詞・二音節名詞・三音節名詞については論じたが、四音節以上の名詞についても、鎌倉・室町時代の京阪アクセントからどのようにして東京式アクセントが分離していったかが説明されなくてはならない。本稿は、そのことを論じるための前提作業として、四音節名詞における平安・鎌倉時代以降の京阪ア

クセントと現代東京式アクセントとの対応関係を整理したものである。筆者の仮説からすれば、鎌倉・室町時代のアクセントを軸にとるべきであるが、語彙量が大きくないと対応関係が見えにくいから、平安時代末期のアクセントを加えることとした。

結果としては、後に示したように、四音節名詞になると、一音節・二音節・三音節名詞の場合に比べて対応関係が複雑になつてきているけれども、よく見ると、語彙量の大きい対応例は限られていて、かなりきれいな対応関係を示していることが明らかになつた。これによつて、四音節名詞についても、東京式アクセントが鎌倉・室町時代の京阪アクセントから分離した経緯を説明することができる可能性が出てきたと言える。

(注) 拙稿「モーラ方言アクセント(京阪式アクセント)・シラビーム性モーラ方言アクセント(東京式アクセント)・シラビーム方言アクセントの分離は、いつ、どのようにして、なぜ生じたか」(愛媛大学教育学部紀要第二部人文・社会科学27・2 一九九五・二) 同「全国諸方言のアクセント」(愛媛国語学研究1 一九九五・八)

(表に関する注記)¹⁾

一、四音節和語名詞を対象とした。ただし、「ゼン」(銭)を含む語はと
らなかつたが、「ゼニ」(銭)を含む語は採用した。²⁾

一、東京式アクセントの分離の問題を考えようとしているので、『日本
国語大辞典』に「標準」として東京式アクセントが示されている語
に限った。『日本国語大辞典』に掲出されていない語も除いた。³⁾た
だし、「アツサイ」(紫陽花)は「アヂサイ」の形で見えるので採
用した。

一、和語名詞は、次の文献により、次に示す手順で集めた。

望月郁子編『類聚名義抄四種声点付和訓集成』(笠間書院 一九
七四・三) 類と略称。

築島裕解題・索引『金光明最勝王経音義』(汲古書院 一九八一・
一一) 金と略称。

金田一春彦『四座講式の研究』(三省堂 一九六四・三) 四と略
称。

秋永一枝『古今和歌集声点本の研究研究篇上』(校倉書房 一九
八〇・二) 五と略称。

日本大辞典刊行会『日本国語大辞典』(小学館 一九七二・一二
〜一九七六・一二) ⑥と略称。

類④より、全音節に差声されている四音節和語名詞を取り出し、
④に当たり、アクセント史・東京式アクセント(標準アクセント)・
京阪式アクセントを確認した。⑤については④が一つのアクセント
の形を推定している語に限って取り上げた。ただし、類④が二つの形
を示しており、④が平安時代の形を示していない語、三語(オモヒ
デ・カタハラ・タマシヒ)は取り上げなかつた。問題を複雑にしす
ぎないために便宜そのような扱いとした。

一、右のようにして取り出した四音節語のうち、二語の単純な接続と見
られる○○○○(ウミガメ・チチハハ・ヨシアシ)、●●●●(美
豆宇美・ミヤツコ・ヨノツネ)の型のものは除外した。

一、右のような取り方をしたので、その資料の性格から言って、対象と
した四音節和語名詞は次の七群一〇種に分かれる。

①類に全音節差声例があり、その形が、④が示す平安時代のアクセ
ントの形とすべて又は一部一致するもの。

①類が示す形が④が示す平安時代のアクセントの形に一致する
もの。類④が二形を示し、④も二形を示して一致するもの(二
語)をも含む。(二〇九語)

例、阿井之流(澱) (類平平平上、④○○○○●)

阿世美蘇(類平平平下降・平平平平、④○○○○●)か

○○○○か)

マユズミ(黛) (類平上平平・平平平平、④○○○○●)

か○○○○か)

①類に二つの異なる形が示されており、その一方の形が④が
示す平安時代の形と一致し、その形が④にも見えるもの。(二
語)

例、キヌガサ(類平平平上・平上平上、④○○○○●)金平平

平上)

フクロフ(類平平上平・平平平平、④○○○○●)金平平

上平)

①類に二つの異なる形が示されており、その一方の形が④が
示す平安時代の形と一致するもの。(二〇語)

例、アヒコム(類平平上平・平平平平、④○○○○●)

②類に全音節差声例があるけれども、④が示す平安時代のアクセ

ントの形と一致しないもの。この場合、㊦の示す形を採用した。
(一七語)

例、アヒヨメ(妯娌) (類)平平上上、㊦○○●●○

③類に全音節差声例があり、㊦に平安時代のアクセントを示さないもの。(一一五語)ただし、㊦に二つの異なる形が示されているものは採用しなかった。

例、アラムシ(螟蛉) (類)上上上平、㊦平安アクセントなし

④類に語は見えるけれども全音節差声例がなく、㊦に平安時代のアクセントの形を示すもの。それ以後の時代の形をも示すものを含む。(三四語)

例、アカホシ(明星) (類)上上、、、㊦●●●●●

⑤類に語は見えるけれども全音節差声例がなく、㊦に鎌倉時代のアクセントの形を示すもの。(六語)

例、アカツキ(曙) (類)上上、、、㊦鎌倉●●●●●

⑥四に見える四音節和語名詞で、右の①～⑤に見えない語(一二語)

例、ウルホヒ(潤) (類)平平、平、四○○○○○、㊦鎌倉○○○○○

⑦古に見える四音節和語名詞のうち、㊦が一つのアクセントの形を推定している語で、右の①～⑥に見えない語。(二〇五語)

⑦全音節に差声された例のある語(二七語)

例、あしたづ(葦鶴) (上上上平)

⑦全音節に差声された例がない語(七八語)^{*4}

例、ひとづて(人伝) (○○上上)

一、表が煩雑になるのを避けて、大きく類別する時は、○○●●●●は○○●●●●

四音節名詞における京阪アクセントと現代東京アクセント

●●と同じ扱いとした。

一、平安時代末期のアクセントの各種類に便宜第一類から第一四類までの名前をつけて呼ぶこととした。

*1 表を作るについて、金田一春彦「現代諸方言の比較から見た平安朝アクセント」(方言七の六 一九三七・七、『日本の言語学七』による)五七五頁、上野善道「日本語のアクセント」(岩波講座日本語5音韻) 一九七七・八)三一七頁、秋永一枝「アクセント概説」(講座方言学1 国書刊行会 一九八六・五)表6を参考した。

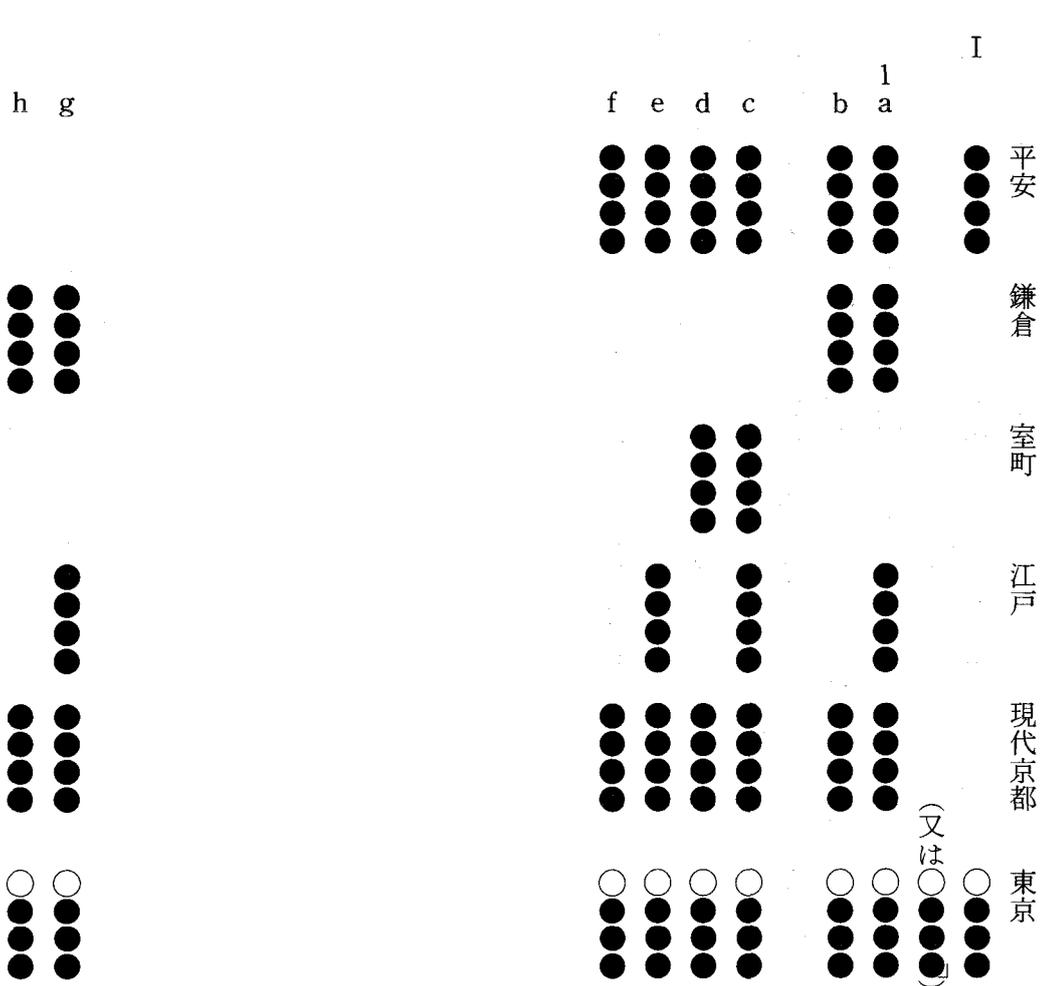
*2 後掲望月編著から集めた語の中に四音節名詞字音語が約四十語あった。

*3 後掲望月編著から集めた四音節和語名詞の中から、そのようにして除外した語は次の通りである。

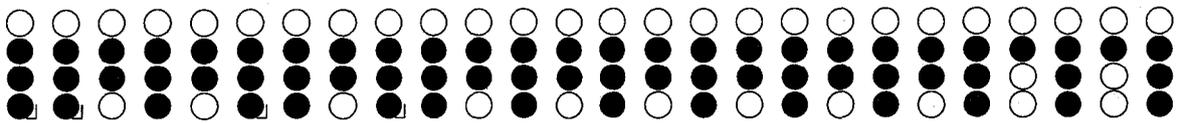
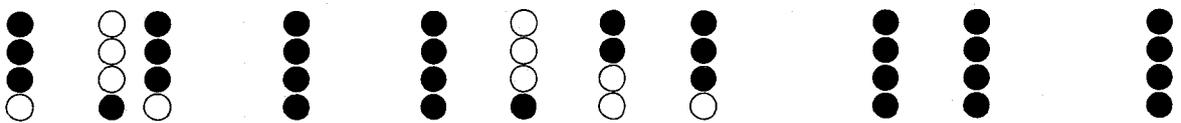
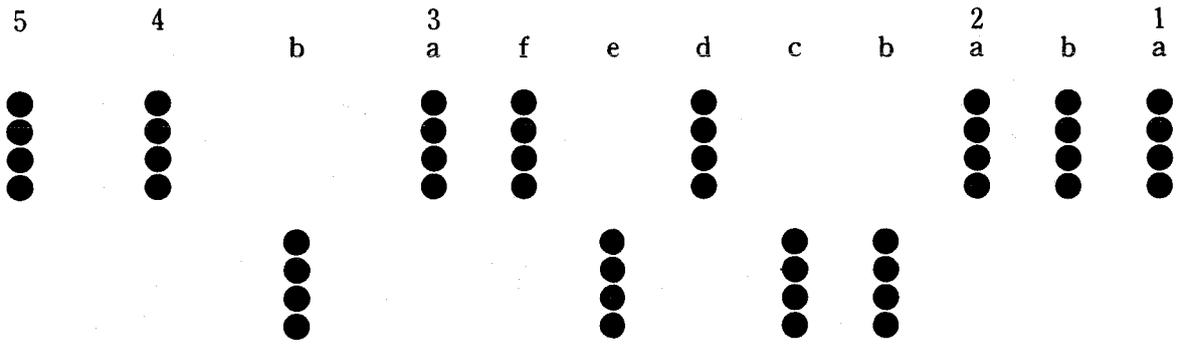
『日本国語大辞典』が東京式アクセントを示さぬ語 三四五語
『日本国語大辞典』に掲出されていない語 一二六語

*4 二つの異なる形が推定されているもの、推定に諸説のあるもの、室町時代以降の変化形と見られるもの、㊦の推定が示されていず、形の異なる二つ以上の差声例があるもの、は除いた。

第一類、



- サイハヒ (運) ①
アラカネ (礦) 阿良太万 (璞) 伊多々岐 (頂) (以上①) トコナツ
(大蘭) ④
ウタガヒ (疑) ワタクシ (私) (以上③)
ミナモト (源) ヨコシマ (隠) (以上①) イタヅラ (徒閑) ③
ヨコサマ (横) ① ニハトリ (鶏) ③
アカガネ (銅) アカガリ (鞍脰) 阿計波利 (幄) アタバラ (疝) ア
ラカハ (皮) アラモト (糲) イカヅチ (雷公) 宇太加多 (洙雨) ウ
ツハリ (梁) ウハシキ (鞍褥) カサフタ (疵) カナクソ (鉄精) カ
ナシキ (鉄礎) シウトメ (姻) スメラギ (天皇) タビミト (旅人)
都以加岐 (築垣) トモダチ (友) トリアミ (羅) ノリモノ (駕) ヒ
グラン (茅蚬) ヒトカズ (人流) ヒナサキ (吉舌) 比良之万 (嶼)
ホソドノ (廊) マ、バ、 (継母) ミサッキ (山陵) ムラサメ (暴雨)
ヤキゴメ (糲) ヤキハタ (嚙) (以上①) 邇波久佐 (地葵) ① ウ
ハナリ (娉) ② イハムロ (窟) カタバミ (酢醬) ソヘモノ (加
マ、チ、 (継父) モリモノ (盛) ワザハヒ (殃) (以上③) アダバ
ナ (英) アラマキ (苞苴) チノミチ (脈) ミヅカメ (水瓶) (以上
④)
フトコロ (懷) ③ ワヅラヒ (妨) ⑤ ひとつて (人伝) ⑦
アカツキ (曙) モロモロ (諸) (以上⑤) クチヘン (口篇) タレビ
ト (誰人) (以上⑥) かづらぎ (葛城) しきしま (敷島) したぞめ
(下染) つくは (ば) ね (筑波嶺) つまごひ (妻恋) ぬのびき (布



美豆賀伎 (躑) (1)

イシモチ (鰈) (1)

カナシミ (悲) (6)

以之須恵 (碓) サヘヅリ (語) (1)

フタマタ (両岐) (1)

ぬれぎぬ (濡衣) (7)

オシアユ (押年魚) (3)

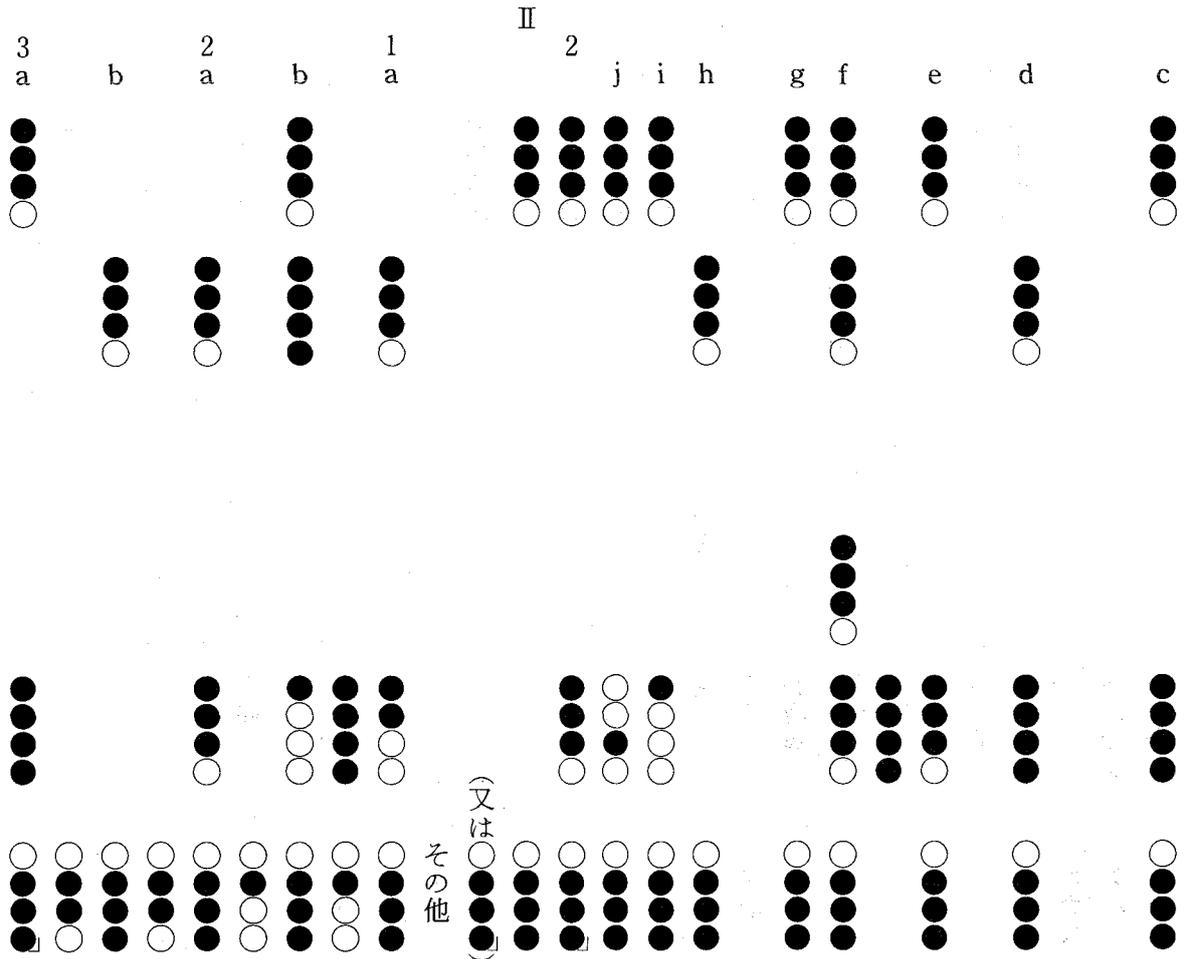
ころもで (衣手) (7)

アチハヒ (味) (5) むもれぎ (埋木) (7)

ウカレメ (遊行女兒) (1)

ブチムマ (駸) (3)

サヲシカ (霞) (1)



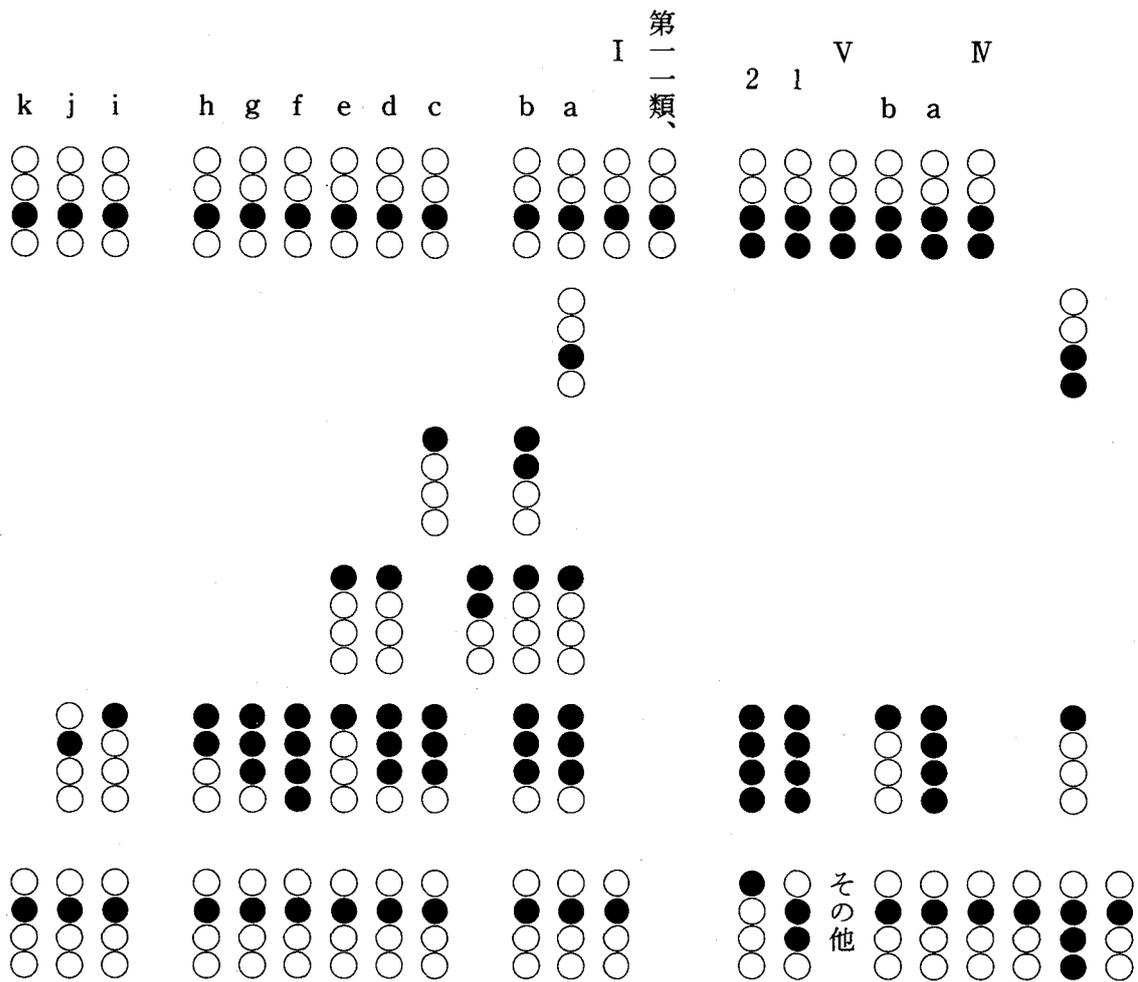
- 阿之和太(絮) イハグミ(卷柏) 賀流伊之(浮石) コシボネ(酪)
- コノゴロ(比) ハナツラ(麩) (以上①) ヤナグヒ(籠) (①) カハ
- ホネ(骨蓬) サカフネ(酒槽) (以上④)
- したくさ(下草) ふゆくさ(冬草) (以上⑦) ひとまね(人真似)
- (⑦)
- ツリブネ(舢舨) (①)
- クチビル(唇) (①)
- イハミシ(磴) ウシクサ(蒹葭) クチプト(蚊) 八岐伊之(砒) ヨ
- ツジロ(驢) (以上③)
- あしたづ(葦鶴) (⑦) たなはし(棚橋) つりなは(釣縄) (以上⑦)
- 以之波之(缸) (①)
- クチバシ(箸) (①) クチナン(梔) (④)
- サカヅキ(坏) (①)
- (又は○●●●●●)
- その他
- まひびめ(舞姫) (⑦)
- ウキハシ(浮橋) (①)
- かよひぢ(通路) (⑦)
- はちすば(蓮葉) (⑦)
- キネブリ(睡) (①)

第三類、

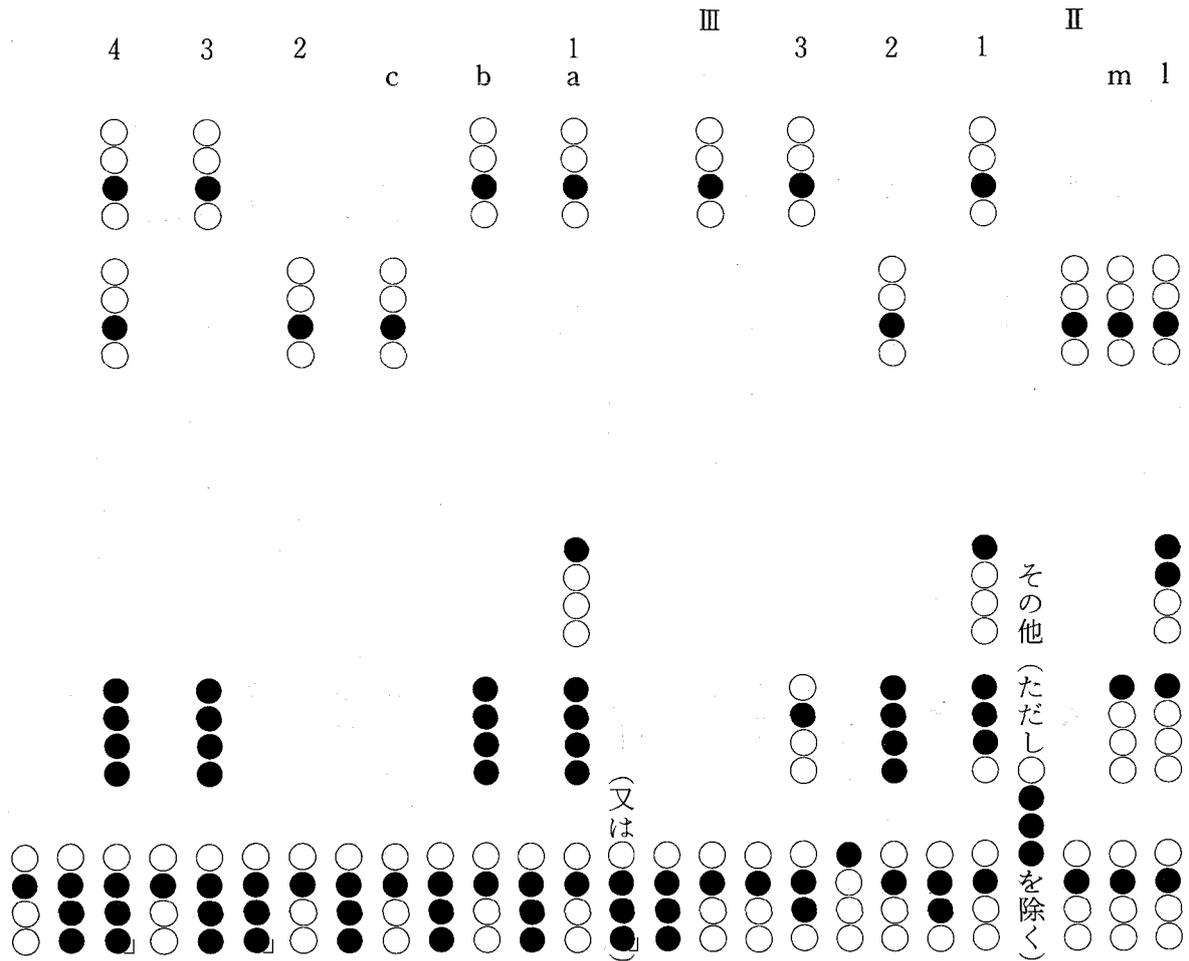
1	III	2	1	II	I	b	2	a	h	g	f	e							
● ● ○ ○																			
				● ● ○ ○					● ● ○ ○	● ● ○ ○	● ● ○ ○	● ● ○ ○							
			● ● ○ ○		○ ● ○ ○				● ● ○ ○	● ● ○ ○	● ● ○ ○	● ● ○ ○							
● ● ○ ○		● ● ○ ○	● ● ○ ○	○ ● ○ ○	● ● ○ ○														
○ ● ● ●																			
カハタケ (苦竹) ③		ナメクチ (蛞蝓) ③	ヨコブエ (横笛) ①	(又は ○●●●●)	ワタツミ (海神) ③	(又は ○●●●●)	フタ、ビ (復) ①	ナルカミ (雷) ①	アヲブチ (碧潭) ①	ささがに (細蟹) ⑦	ヒサカキ (杓) ①	アヲウリ (青瓜) ②	あしが(か)き (葦垣) ⑦	にほどり (鳩鳥) ⑦	カナバン (鉄鉗) ③	あらをだ (荒小田) ⑦	トジキミ (鬮) ①	アラムシ (螟蛉) ③	コノカタ (以降) ③
				(○●●●●を除く)				ハツシモ (靄)	ヤキガネ (鎌)										

第六類、 I	第五類、 I	II	I	第四類、 I	2	1	V	f	e	d	c	b	a	IV	2
	メガハラ (貳) ①	ツキナミ (月次) ③	ミトコロ (三) ③	ミヅカラ (自) ⑤	はつかり (初雁) ⑦	をしどり (鴛鴦) ⑦	コナスビ (龍葵) ③	ムササビ (鼯鼠) ③	シナジナ (碱) フミバコ (笈) (以上) ①	クレタケ (呉竹) ①	ナヨダケ (笹竹) ③	ヒコボン (牽牛) ⑤	クレナキ (紅) ①		
				その他											

<p>第八類、</p> <p>I</p>	<p>3</p>	<p>2</p>	<p>1</p>	<p>II</p> <p>h g f e d c b</p>	<p>I</p> <p>第七類、</p> <p>a</p>		
<p>(又は)</p>				<p>(又は)</p> <p>その他</p>			
	<p>ナニビト (何人) (6)</p>	<p>ハタハタ (蟋蟀) (4)</p>	<p>からさき (辛崎) (7)</p>	<p>オホフネ (船) (3)</p> <p>くろこま (黒駒) (7)</p> <p>あひおひ (相生) (7)</p> <p>ふきあげ (吹上) (7)</p> <p>ナニゴト (何事) ナニモノ (何物) (以上6)</p> <p>シトダマ (シトダチ) (章断) (3)</p> <p>アヅサキ (紫陽花) (3)</p> <p>ウジミ (炷) (4)</p> <p>宇知加介 (襠) (1) シリオモ (重下) タチガレ (蕒) (以上3)</p> <p>ト</p>	<p>メカツラ (桂) (1)</p>		



- アキラカ (晶) ① ホカラカ (融) ③
- マメヤカ (真成) ③
- ウグヒス (鶯) ヤマドリ (鶉鷄) (以上) ①
- 末和太之 (塚帯) ①
- タラヤカ (襦) ① オゴソカ (荘) ③
- アマドリ (胡鷄子) テグルマ (輦) 天都久利 (紵) ヒトタビ (巻) (以上) ①
- アラノリ (陟厘) アサガホ (牽牛子) 夜末布伎 (歎冬) (以上) ①
- ヒネズミ (火鼠) ヤマモモ (黒桜子) (以上) ①
- ラギムシ (蝮) クソムシ (蜚蜋) ムマセミ (馬蛔) メハジキ (荒蔚) (以上) ③
- シロたへ (白妙) ⑦
- 阿末比古 (百足) オトヨメ (娣婦) (以上) ①
- アゲマキ (総角) ③
- ヨロヅヨ (万歳) ③
- コホロギ (蜻蛉) ③
- その他



マナシリ (皆) (①)

須美奈波 (繩墨) (①) アヒヨメ (妯娌) (②)

なかみち (中道) (⑦)

ふること (古言) (⑦)

シハブキ (嗽) (①)

ナカゴロ (中) (①)

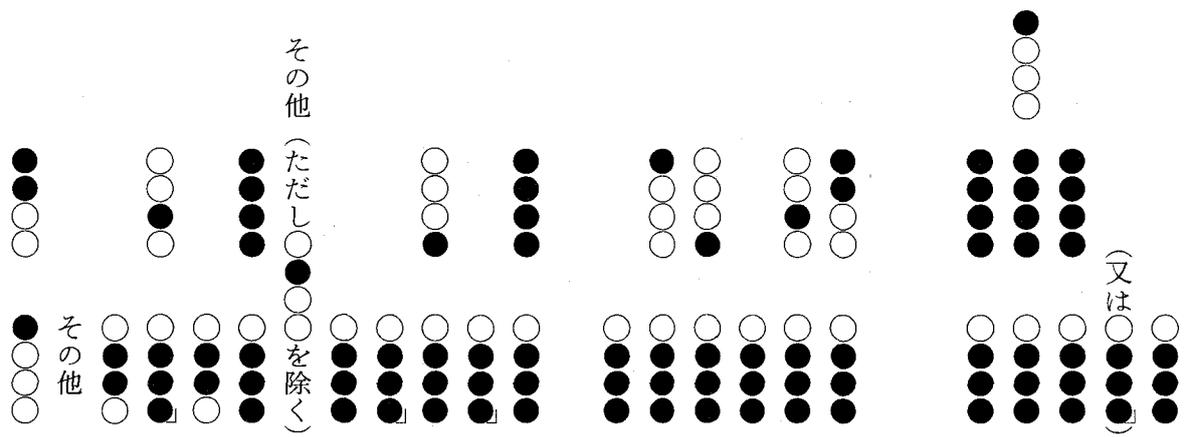
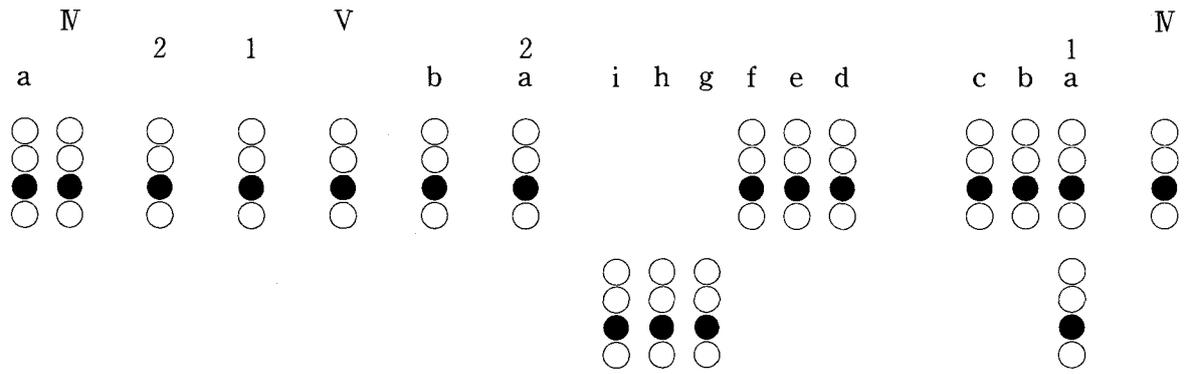
(又は)

フクロウ (梟) (①)

おくやま (奥山) (⑦)

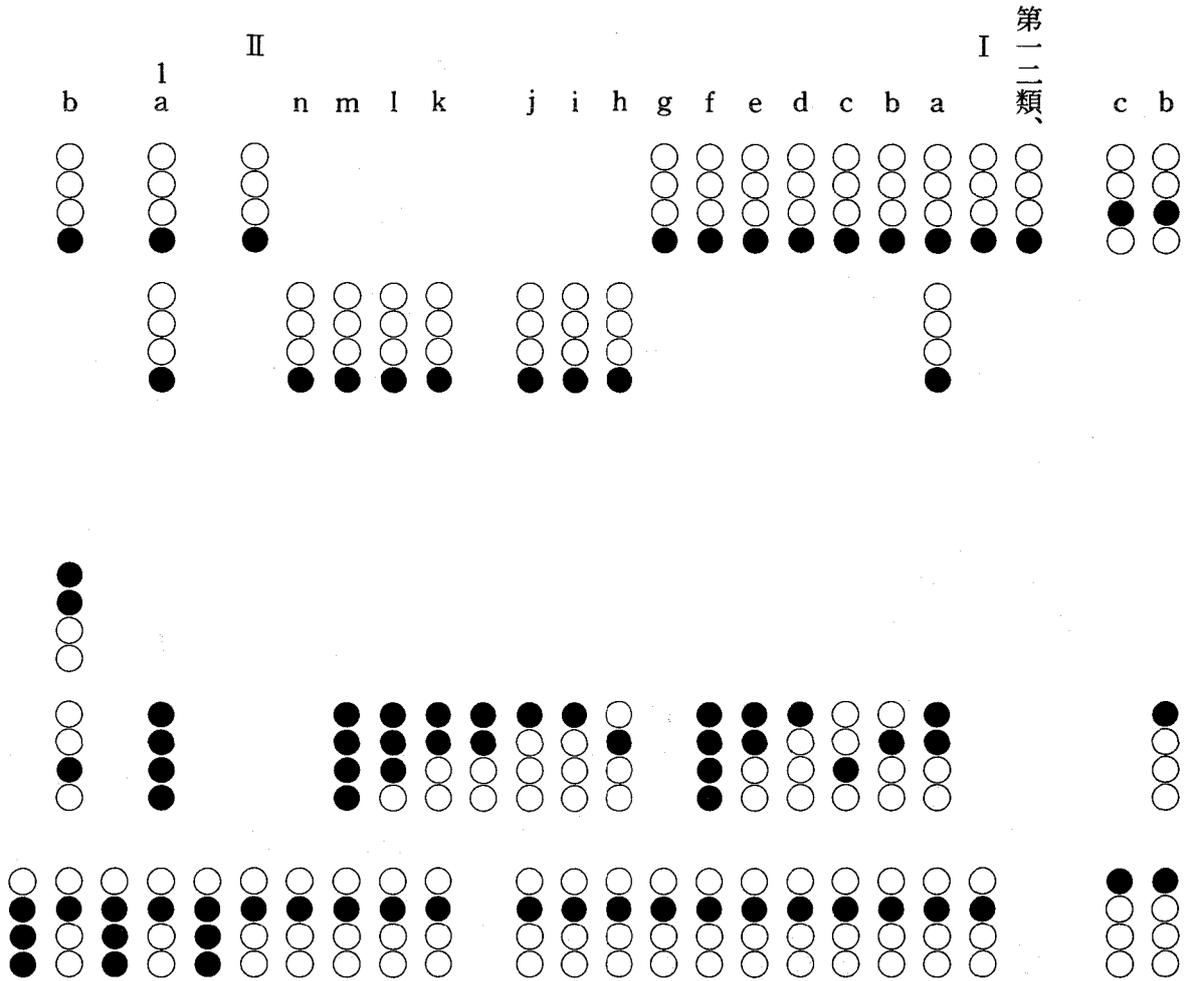
アタタカ (煦) (①)

たまづさ (玉章) (⑦)
かみがき (神垣) ながつき (長月) まつむし (松虫) (以上⑦)



- オホヲバ (曾祖母) (2)
- タマトリ (弄丸) (3)
- タダレメ (瞋) (3)
- カタサキ (鶮) (3)
- カタルガ (斑鳩) (1)
- タナウラ (躡) (1)
- 阿奈宇良 (蹠) マナブタ (臉) (以上①) アンブチ (躡) ヤツカレ (僮) (以上①) イモガラ (靛) (2) ムギガラ (稗) (3) オホヨソ (諸) (4)
- ユミヅル (弦) (1)
- ホホヅキ (酸醬) (1)
- アハガラ (梳齒魚) カハボリ (蝙蝠) タナソコ (掌) (以上③)
- うぢやま (宇治山) (7)
- まつやま (松山) (7)
- あさぢふ (浅茅生) いざかは (率川) ながはま (長浜) (以上⑦)
- やまびめ (山姫) わかこも (若狐) (以上⑦)
- 万米賀良 (琪) (3)

第二類、



オホカミ (伐狼) (4)
 カムセミ (蟻) (3)

ヤマガキ (鹿心柿) (1)
 シロウリ (白瓜) (1)
 ワラグツ (菲) (1)

カケハン (棧) ハマグリ (蛙蛤) 毛知豆岐 (望月) (以上1)

以度須知 (綫) (1) イヌタデ (荳) (4)

アヘヅキ (壺) (1)
 カラウリ (胡瓜) タテイシ (瓶) (以上3)

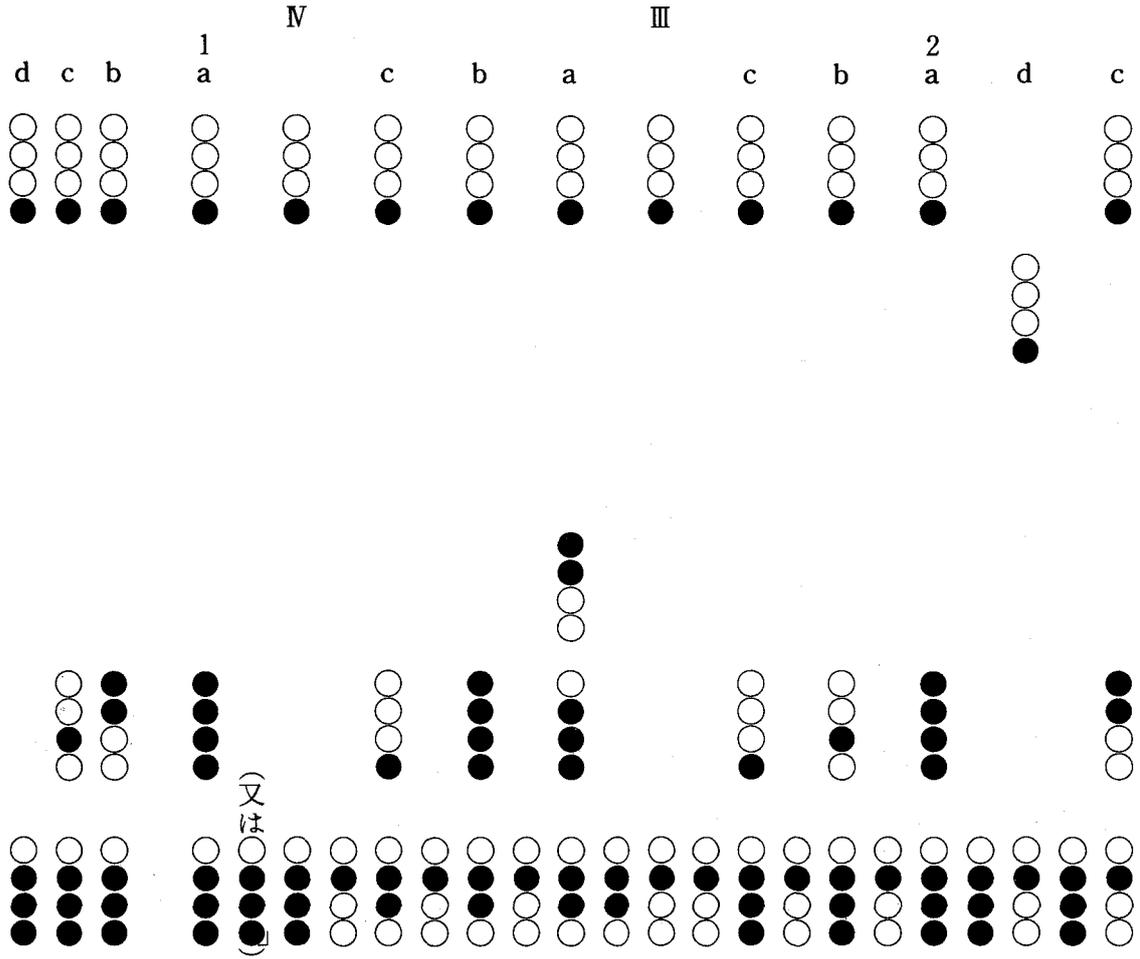
はるかぜ (春風) (7)
 しのはら (篠原) (7)
 しらきく (白菊) (7)

しほがひ (塩貝) しほがま (塩竈) やまかぜ (山風) (以上7)

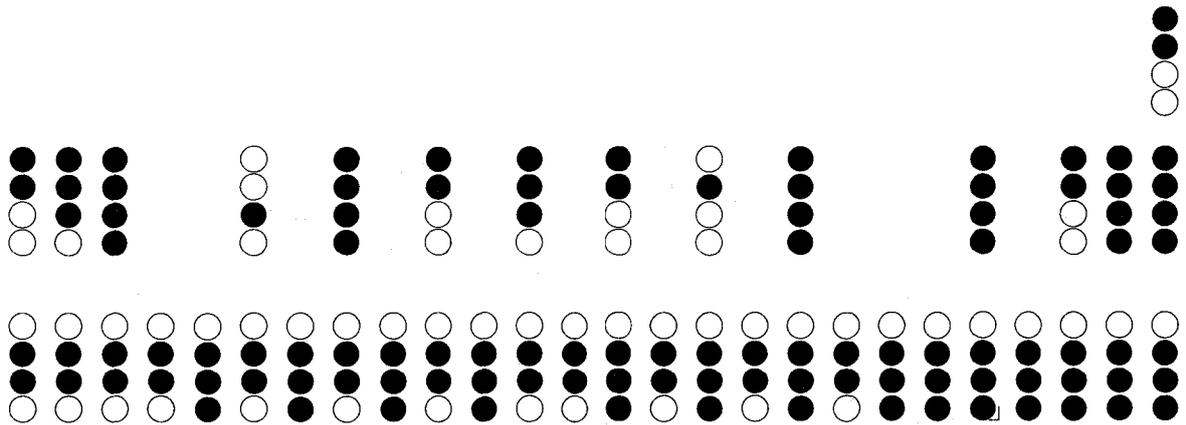
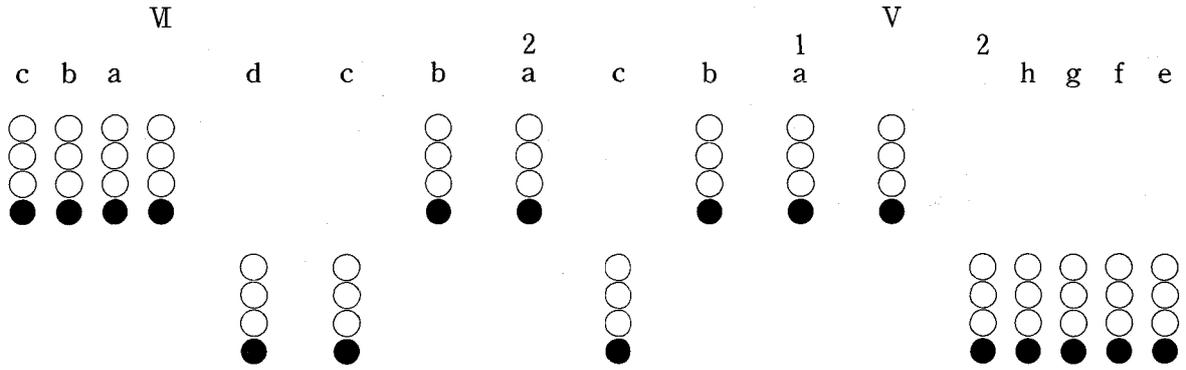
はながめ (花瓶) (7)
 やまざと (山里) (7)
 なかがき (中垣) (7)

アキヒト (商) (1)

波良万岐 (勒肚巾) (1)



- ヤマナシ (稿) (①)
 あまびと (海人) (⑦)
 サルボ、 (嘆) (①)
 カラナン (槌) (①)
 フカグツ (深頭履) (③)
 賀利岐沼 (布衣) (①)
 キヌガサ (蓋) (①)
 カラキヌ (背子) (①)
 クツガタ (鶏尾) 都美以之 (礎) ツラホネ (顴) (以上①) オビカ
 ハ (鞆) ゼニガタ (紙銭) (③) オバシマ (檻) (④)
 イモガユ (署預粥) カラサホ (連枷) (以上①) ハヤフネ (舸) (②)
 阿井之流 (澱) (①)
 アシナベ (鐘) オホワシ (鵬) クツガタ (榎) コジカタ (榎) シリ、
 ボネ (籠) ムマビル (馬蟻) (以上③)



すみぞめ (墨染) (7)
 はるさめ (春雨) (7) はなぞめ (花染) やまがは (山川) (以上) (7)
 やまがつ (山賤) (7)
 ふるこゑ (古声) (7) はぎはら (萩原) (7)
 ことつて (言伝) (7)

阿万岐沼 (雨衣) (1)

加波木奴 (裘) (1)

かたいと (片糸) (7)

ウミジル (膿) (1)

ネリイト (練) (1) カタスミ (維) (3)

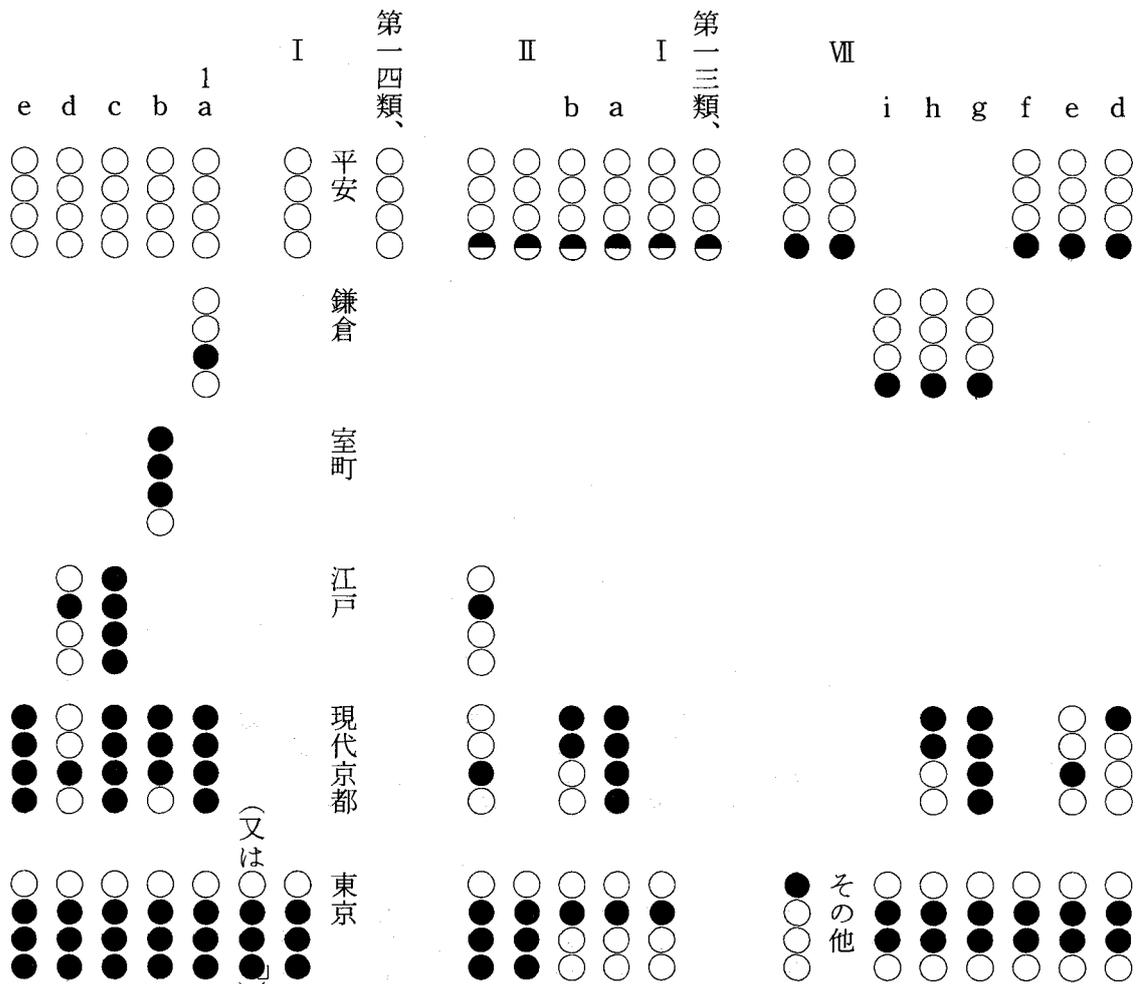
いなぶね (稲舟) (7)

あづまち (東路) (7)

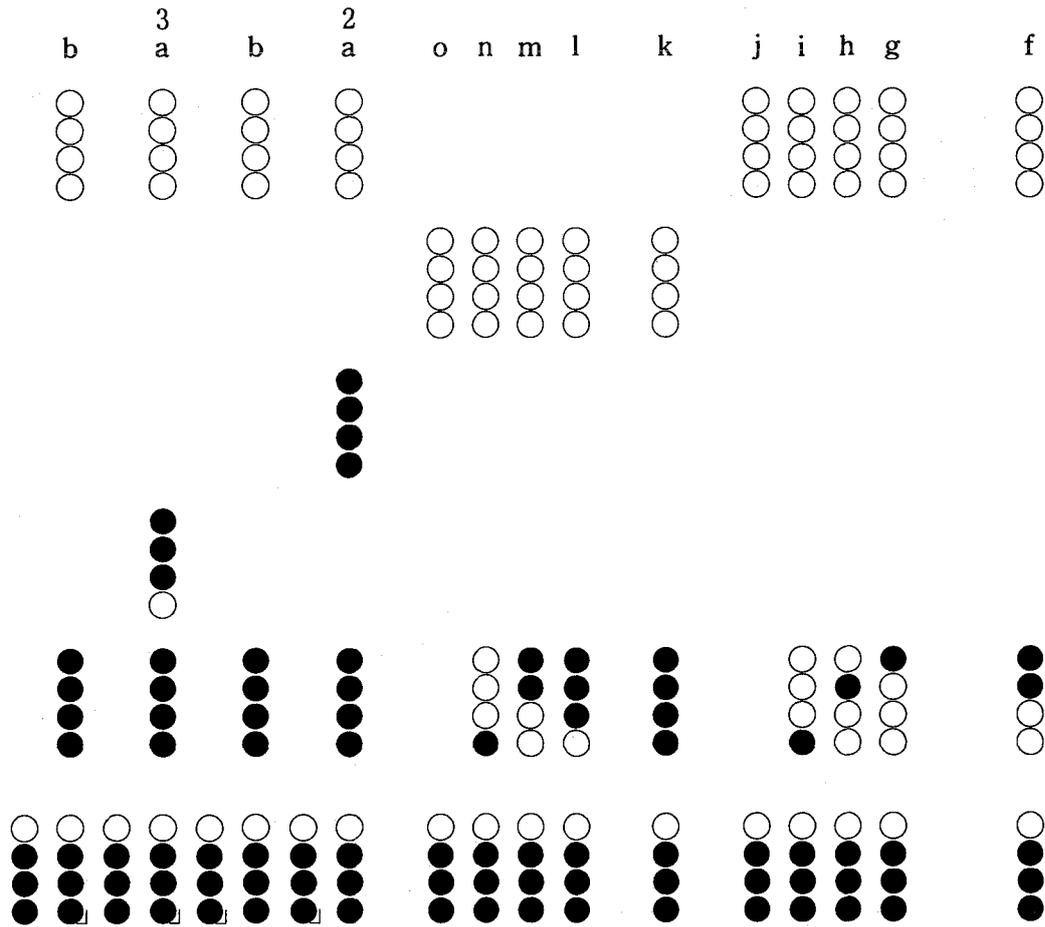
ムギカス (麩) (1) アシアト (趾) (3)

カセツエ (横首杖) (1) アヒムコ (姪) (1)

オホガサ (大笠) 須利字須 (磨磬) (以上) (1) クロムギ (麦奴) (4)



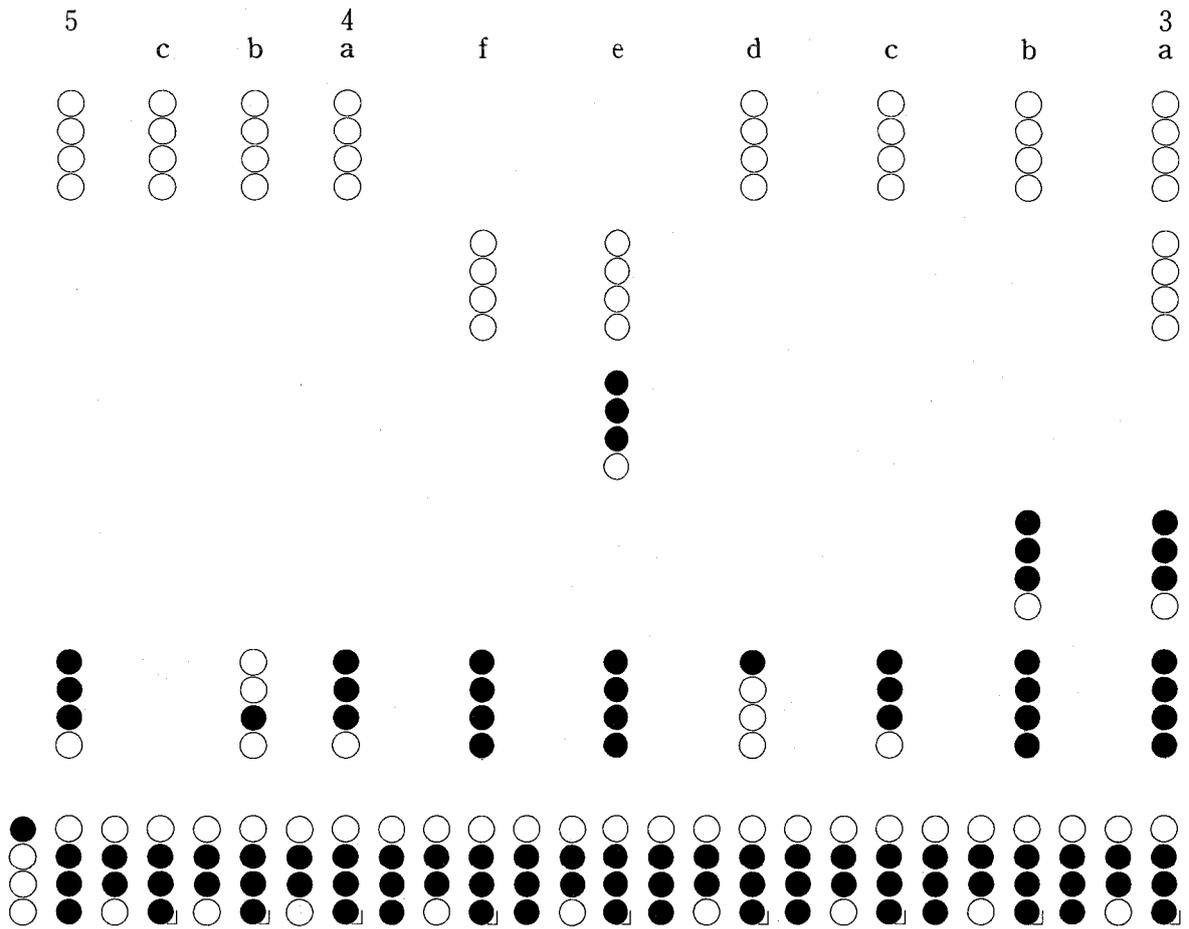
- 賀良宇須 (碓) (1)
 波良於比 (纒) (1)
 カヒダコ (貝鮓) (3)
 なかぞら (中空) (7)
 はながさ (花笠) (7)
 ありかず (有数) (7)
 クハノミ (榎) (3)
- 阿世美蘇 (汗溝) (1)
 ハシツボ (筋柑) (2)
 マヘダレ (袜) (2)
- タカドノ (楼) (3)
 ツモゴリ (晦) (1) ヌスビト (盗人) (1)
 クロガネ (鉄) 度毛都奈 (纒) (1)
 クチナハ (蛇) (1)
 阿之奈閉 (跛) 阿和之保 (白塩) イチグラ (肆) 於以加介 (綏) オ
 ホシカ (麩) オホタカ (鷹) カラタチ (枳) シシムラ (櫛) 之良太



- 麻(真珠) ツチグラ(窖) トシゴヒ(祈年) ヒトリキ(端坐) フナ
- ドコ(舟笥) ムギナハ(索餅) (以上①) アツモノ(羹) (②) イナ
- ムラ(稱) タラヤメ(女人) (③)
- オホガネ(洪鐘) オホツボ(虎子) クロトリ(鴉) ハヤブサ(鶻)
- (以上①) ユミヅカ(附) (②) オホドコ(椀) ユデモノ(茄) (以
- 上④)
- カラスキ(采) (①) カムザシ(笄) (①)
- 久路都知(壚) (①)
- カメバラ(癥瘕) 加良久三(緋) (以上①)
- アラヒエ(竹刀) イナヅカ(積) ウマグハ(編捺) オホトリ(瀧)
- ツチムロ(穴) ツルハミ(橡) (以上③)
- いたづぎ(勞) たまたれ(玉垂) やまもと(山本) (以上⑦) やま
- ごえ(山越) (⑦)
- かはらけ(土器) (⑦)
- かたこひ(片恋) (⑦)
- すきもの(好者) (⑦)
- くさぶし(草臥) さほやま(佐保山) そへうた(楓歌) なかやま(中
- 山。地名) のちまき(後時) (以上⑦)
- イマシメ(誠) (①)
- イケニヘ(犠牲) 須奈度利(漁) 都知久礼(泥) (以上①)
- モト、リ(鬢) (④)
- ユミハリ(弦) (①) コトワザ(諺) (③)

		I							II				
		c	b	2 a	d	c	b	1 a	d	c	b	4 a	c
		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
		● ● ● ○	● ● ● ○ ● ● ● ●	● ● ● ○ ● ● ● ●	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
		○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○
		○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ○
		イ ロ ト リ	去 止 和 利	加 太 比 良	あ ま ぐ も	は な つ み	奈 利 波 比	カ ミ ガ キ	ユ ミ ガ ケ	ク サ キ リ	イ モ ウ ト	オ ト ウ ト	キ ワ マ リ
		(采)	(理)	(帷)	(天雲)	(花摘)	(家業)	(取)	(磔)	(剉碓)	(妹)	(弟)	(窮)
		①	①	①	⑦	⑦	①	①	③	④	①	①	⑥
				イ ツ ハ リ									
				(詐)									
				②									

その他 (ただし ○●●●●を除く)
(又は ○●●●●)



波伊須美 (掃墨) (1)

スミザシ (笮) (3)

ノコギリ (鋸) (3)

シタウチ (咤) 春美須利 (硯) ホコトリ (弄槍) (以上1) スミカ
キ (鉛) モノイミ (齋) (以上3)

タノシミ (楽) (6)

クルシミ (苦) (6)

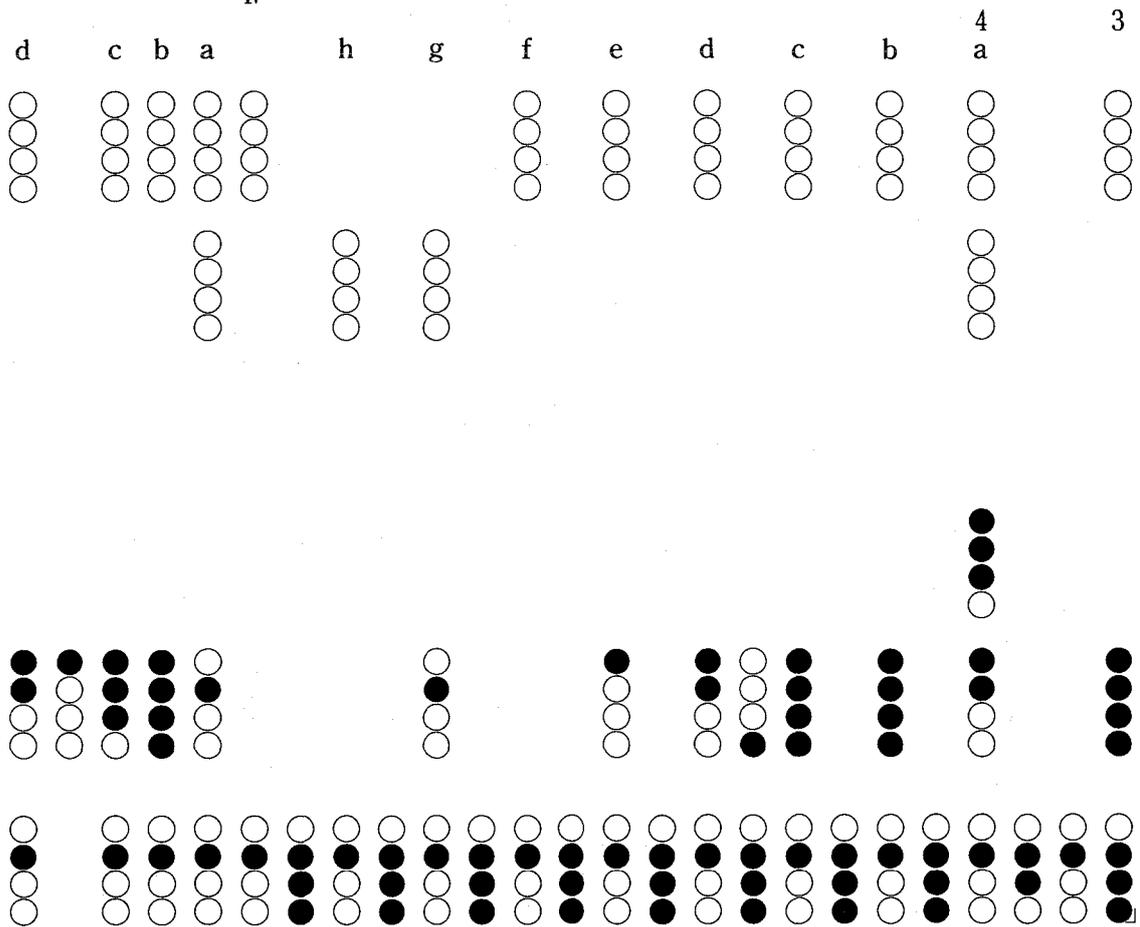
オホカゼ (大風) (1)

ハラワタ (腸) (1)

アヤマチ (咎) (1)

ヨロコビ (喜) (1)

IV



- コノシロ (鯨) ③
- アリサマ (消息) ①
- カマツカ (鮭) ① フナダナ (稚) ④
- ハネムマ (駢) ③
- アメウシ (黄牛) 須弥都保 (墨斗) (以上) ① ハナブサ (房) ④
- カラムシ (苧) ③
- クミナハ (辮) ③
- からうた (唐歌) ⑦
- からもの (唐物) ⑦
- カラモモ (杏) ④
- アヘモノ (壠) イヘニレ (菟葵) ①
- マサカリ (鉞) ②
- クダモノ (菓) クマダカ (角鷹) (以上) ① サシグシ (刺櫛) ①
- ヲガハラ (牡瓦) ④

VI			V					
c	b	a		i	h	g	f	e
○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
○ ○ ○ ●	○ ○ ○			○ ○ ○ ○	(か ○ ● ○ ○ か)			
● ● ○	● ● ○	● ○ ○	○ ○ ○	● ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
○ ● ○	○ ● ○	○ ● ○	その他 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
モミヂバ (黄葉) ①	かくれが (か) (隠処) ⑦	イキホヒ (勢) ③ モトユヒ (髻) ④		ムマカヒ (馬子) ①	はやうた (早歌) ⑦	マユズミ (黛) ①	ミミクソ (臍) ③	クロカキ (柿心) ④ タマガシ (玉串) ③

(一九九五年九月二十九日受理)